

CLTの普及に向けた新たなロードマップ ～農林水産省の取り組み～

目標	取組事項	4年間の実績（累計） （R2見込み含む）	今後の課題	
CLTの普及の一層の拡大	CLTを用いた建築物の建築意欲を高める	<ul style="list-style-type: none"> CLT建築実証17件支援 「CLT晴海プロジェクト」における広報・普及活動を支援 アイデアコンテストの実施 普及冊子の作成等 	<p>一定のノウハウは蓄積されたものの、中高層などの事例が少数。CLTの一般の認知度は未だ低位であり、需要拡大のためには顕彰制度やモデル的な建築物を支援。</p>	
	CLTを用いた建築物の設計や施工ができる者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 発注者向け講習会：約1,400名 新規CLT設計施工者講習 約1,000名 CLT建築物の設計施工マニュアル、同手引き作成 標準的な設計・施工に係る情報等を講習会等で周知 CLTパネル工法における架構方法の合理化と構造モデルの簡略化を検証 CLTパネル工法用の構造特記仕様書及び設計標準図を開発 	<p>CLTを学ぶ環境は一定程度整備。今後は受講者の裾野の拡大、サポート体制の整備へ。</p> <p>構造計算の簡易化、設計積算ツールの検討・充実化などの設計者支援</p>	
	CLTを使い易くする	<ul style="list-style-type: none"> 中高層建築物におけるCLTの利用が容易になるよう建築部材等の開発を促進 樹種に応じた基準強度やより幅広い層構成により合理的な設計を可能にする 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨フレームとCLT耐力壁の組み合わせを開発 中大規模木造に用いるCLTパネル工法用接合部の開発と規格化 ラミナ強度に応じた接合金物を合理化 屋外使用における耐久性・不燃処置及び基準に関する調査・実験 スギ7層7プライの長期性能データを収集 	<p>耐火性能の高い部材等の開発</p> <p>幅広い層構成の基準強度の設定</p> <p>必要な時期に必要な量のCLTを確保できる体制の構築</p>
	材料コストや建築コストを下げる	<ul style="list-style-type: none"> 需給動向を踏まえつつ全国的な生産体制の構築 CLTの標準化による効率量産体制への移行 まとまった需要を確保してコストを下げ、広く民間建築物等におけるCLTの需要を創出 	<ul style="list-style-type: none"> 全国8工場（北海道1、東北1、中部1、中国2、四国1、九州2） 中大規模木造に用いるCLTパネル工法用接合部を開発 規格化・ラミナ強度区分に応じた接合金物の合理化を検討 CLT建築物（公共建築物を含む民間非住宅など）の実証的取組に対し、CLTの調達費の一部を支援 	<p>引き続き需要動向を踏まえた生産体制の整備</p> <p>CLTパネルの標準化を進めるため連携体制を整備</p> <p>公共建築物への利用等を引き続き推進</p> <p>需要拡大のため新たな分野へのCLTの活用を検討</p>
			<p>認知度が低く需要が少ない</p> <p>設計者・施工者が少ない</p> <p>活用環境が十分整っていない</p> <p>安定供給できる体制が必要</p> <p>活用コストの低減が必要</p>	